

第4回定例会号(12月議会)



傘雪（箕面大滝前）
撮影：箕面市美術協会 吉田 卓司さん（西小路在住）

今定例会の焦点

新型コロナウイルス感染症対策を全力で審議

～市民生活を最優先に、活発に議論を交わす～

今定例会 の焦点

新型コロナウイルス感染症対策を全力で審議

～市民生活を最優先に、活発に議論を交わす～



新型コロナウイルス感染症に関連する全議案を可決

新型コロナウイルスの感染拡大に終息が見えない中、今定例会においても、感染症対策に関する多くの議案が提出され、活発に議論を交わしました。

市長から提出された議案の主なものとしては、新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少した市内の中小企業者や小規模事業者を応援するとともに、市民の家計への支援を目的として、市内の店舗などで使用できるプレミアム付商品券を3月中旬から販売する予算。また、感染拡大防止の観点から、高齢者施設に新規に入所する市民が、希望すればPCR検査を自己負担なく受けられる予算、及びPCR検査の行政検査数の増加に対応するため、保健所から依頼のあった濃厚接触者に対し、自己負担なしに検体を採取することができるPCR検査センターを設置する予算。更には、コロナ禍での避難所運営に必要な衛生用品や資器材など既に配備済みの物品に加え、更に万全を期すために、テント型間仕切り

や段ボール間仕切り、簡易ベッドを購入する予算などが提出されました。

また、コロナ禍における市立病院の医療体制や池田保健所、医師会などとの協力体制及び連携状況の確認。患者の受け入れに関する課題の有無。更には、今後、市立病院の移転・建て替えに向けた感染症対策上の課題や必要となる機能などについて、質疑、要望を行いました。

このほか、今定例会では、条例議案や補正予算など計33件を審議し、いずれも提案どおりに議決しました。

今定例会で話題となった案件について、審議の流れに沿って動画をまとめています。

- プレミアム付商品券の配布
- PCR検査の実施
- コロナ禍における避難所運営



第4回定例会(11/30～12/22)の議案

- 条例案件…10件
- 補正予算…11件
- 人事案件…4件
- その他…7件
- 議員提出議案…1件

議案の詳細は、市議会ホームページ「会議情報・結果」をご覧ください。

今定例会で行われた議論の主な内容は、下記のページで紹介しています。

- 4p 常任委員会…議案審査で行われた質疑
- 6p 賛成・反対が分かれた議案
- 一般質問…市政全般に関する質問・提言

議員研修 新型コロナウイルス感染症について考える



箕面市議会は、議員の政策形成及び立案能力の向上をはかるため、各分野の専門家及び有識者などによる研修を毎年行っています。

今年度は、いつ終息するともれない新型コロナウイルス感染症の実態と、医療の最前線である市立病院の取り組み状況を学ぶため、去る令和2年11月19日、市立病院の医務局次長・救急科主任部長・感染制御部部长 山口充洋氏と感染制御部副部长・感染管理認定看護師 四宮聡氏を講師としてお迎えし、市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応や対策をテーマに、現場の声を中心に講演いただきました。

感染症は未来に分かる

新型コロナウイルス感染症は発症0.7日前にウイルス排泄のピークがあるとの研究報告があり、それが人につくさないために普段からマスクを着けることが重要であることの根拠。

感染が分かってから対策しても遅い！
マスクは正しく口と鼻を覆うことが大切。



市立病院の取り組み事例 (当研修時)

院内感染対策

市立病院の施設自体が最新のものでないことから、院内での動線分離が難しい中、ウイルスのリスクがある場所と安全な場所とを分けるゾーニングを実施し、職員の工夫と努力で新型コロナウイルス感染症専用病棟からウイルスを持ち出さない対策に徹底して取り組んでいる。

病院職員の安全確保

病院職員に感染が広がれば、病院の機能が維持できなくなるため、防護具の確保と取り扱いの訓練を実施。第一波のころは防護具が不足し、職員自らビニール袋などを利用して防護服を4,000枚作成した。職員間での感染を防ぐため、職員同士の会食の禁止や休憩室の使用制限など対策を徹底し、職員のメンタルヘルスにも注力。

箕面市民の医療を守るため

市立病院は地域医療の拠点として積極的に陽性者を受け入れ(中等症状まで。重症患者は対応病院に転院)、治療を行っている。地域の医療機関や福祉施設などと連携し、支援することにより、市内でのクラスター予防に努めている。

市議会として、最前線で尽力されている医師や看護師をはじめとする医療従事者、それを支える医療事務職員がいるということを理解した上で、今後も、市立病院を含めた市の感染症対策に正しい判断や提案ができるよう、終息に向けて最善を尽くしていきます。

あなたの声を市政に届けませんか？ 市政への意見や要望を、箕面市議会へ提出する制度を紹介します。

請願

希望すれば委員会で、**思いや意見**を述べる
ことができます。



紹介議員を通じて提出します。

希望すれば委員会で、**思いや意見**を述べる
ことができます。

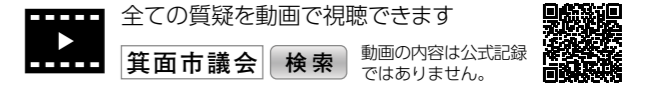


本会議で**採択**されたものは、市などに送付し、その後の対応について報告を求めるなどします。

陳情

紹介議員がいなくても、**陳情(要望)**を提出することができます。全議員に配布し、議会として取り扱いを決定します。





～このような質疑を行いました～

本会議から各常任委員会に付託された議案などについて、慎重に審査しました。市に対する主な質疑項目をお知らせします。

文教常任委員会 【審査分野】教育、子育て、生涯学習、人権、文化など 【委員】委員長／神代繁近 副委員長／田中真由美 大脇典子、山根ひとみ、増田京子

(審査議案／予算1件、その他1件)

補正予算 令和2年度一般会計

- 国が運用を開始する要保護児童などの全国統一情報共有システムの導入と連携の構築
 - ・近隣市のシステムの導入状況
 - ・管外の児童相談所との情報共有の取り扱い
- 電子図書館システムの導入※
 - ・電子書籍更新時の経費
 - ・電子書籍の選定方法
 - ・移動図書館廃止の方向性
- 教員間のデジタル教科書の使用頻度の差と活用策
- 現在の学童保育の利用状況と保育内容
 - ・コロナ対策補助金の使い方

その他 指定管理者の指定の一部変更の件 (箕面市立箕面文化・交流センター)

- みのおサンプラザ1号館建て替えの進捗状況
- 指定期間1年延長の理由

《付託案件外》

- コロナ禍における教育相談の現状と対応方法
- オンライン授業の教員への研修
- コロナ禍での新生児・産婦訪問、赤ちゃん訪問の相談内容の変化
- 青少年教学の森野外活動センターの休館理由と予約者への対応

など



※市立図書館では、令和3年3月1日から24時間いつでも利用できる電子書籍とオーディオブックの無料貸出を開始します。

建設水道常任委員会 【審査分野】都市計画、道路、公園、消防、水道、競艇など 【委員】委員長／楠政則 副委員長／神田隆生 武智秀生、牧野芳治、川上加津子

(審査議案／条例6件、予算4件、その他1件)

条例改正 箕面市都市計画法に基づく開発行為の許可の基準に関する条例及び箕面市都市計画法に基づく開発行為等に係る事務手数料条例

- 市街化調整区域の開発許可などの権限を大阪府から移譲を受ける経緯

補正予算 令和2年度一般会計

- 急傾斜地崩壊対策工事の工事対象3カ所を選定した理由※
- 独立自営就農する49歳以下の新規農業者への補助制度の活用と周知方法

補正予算 令和2年度競艇事業会計

- 開催日数や売り上げを増やすための取り組み

その他 豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議の件

- 構成が5市になった理由

《付託案件外》

- 箕面駅前北側の一方通行道路の安全確保
- 国文都市4号線延伸に係る安全・渋滞対策
- 市道中央線の自転車利用環境の整備
- コロナ禍における救急搬送の現状や感染防止対策など



※レッドゾーン内人口ゼロをめざし、令和2年度は、市内の急傾斜地の3カ所を選定し、工事の実施設計を行っています。

民生常任委員会 【審査分野】福祉、住民登録、ごみ処理、病院など 【委員】委員長／堀江優 副委員長／村川真実 高橋竜馬、中西智子、船瀬泰孝、中嶋三四郎

(審査議案／条例2件、予算5件、その他2件)

条例改正 箕面市新市立病院整備審議会設置条例

- 予定される委員の構成（市民、関係団体など）と委員定数を2人追加した目的
- 開催スケジュールと手順及び想定される検討内容

補正予算 令和2年度一般会計

- 高齢者施設新規入所者へのPCR検査の実施※
- 地域密着型サービス拠点への簡易陰圧装置設置、及び緊急災害用の自家発電設備の整備への費用補助

補正予算 令和2年度特別会計介護保険事業費

- 第8期介護保険制度の開始に伴うシステム改修

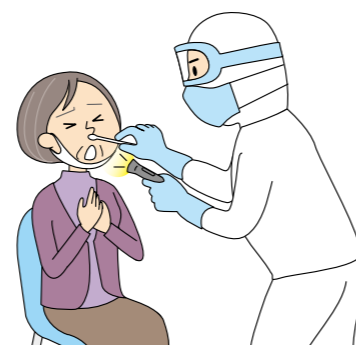
その他 指定管理者の指定の件 (箕面市立斎場及び箕面市立霊園)

- 指定管理料及び期間の妥当性
- 稼働率向上策と改修計画

《付託案件外》

- 自殺対策に関する市役所各部署の問題意識
- 新型コロナウイルス感染症への市立病院の対応
- 高齢福祉及び障害福祉分野における新型コロナウイルス感染症対応の実態調査の結果と課題
- 窓口業務の委託と市直営との人件費コストの比較
- 地域福祉計画の改定プロセスと今後の位置付け
- 生活保護や生活困窮者自立支援へのコロナ禍の影響

など



※令和3年1月4日から令和3年3月31日まで、希望する高齢者施設の新規入所者にPCR検査を実施しています。

総務常任委員会 【審査分野】防災、税、情報システム、観光、北急延伸など 【委員】委員長／内海辰郷 副委員長／名手宏樹 尾崎夏樹、桃山悟、藤田貴支、岡沢聡

(審査議案／条例1件、予算2件、その他2件)

条例制定 箕面市地方税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

- 法改正の中身並びに滞納時の延滞金額と通知手法

補正予算 令和2年度一般会計

- オレンジゆずるバスの更新
 - ・新型コロナウイルス感染症対策としての地方創生臨時交付金活用の条件
 - ・バスの愛称やデザインの募集
- コロナ禍での避難所運営
 - ・陽性者、濃厚接触者専用の避難所設置の実現性
 - ・女性視点での避難所運営
- プレミアム付商品券の販売方法と中小企業者や小規模事業者が対象となるための条件
- 箕面萱野駅前地区まちづくり拠点施設整備事業でPFI手法を取りやめる理由と事業費の増額見込み

その他 指定管理者の指定の件(箕面市立止々呂美ふるさと自然館)※

- 市民利用率の向上に向けた仕掛け
- 地域活性化に貢献する住民との積極的な連携の拡大

《付託案件外》

- 北大阪急行線延伸事業の取用手続きと工事への影響
- (仮称)箕面市新改革プラン(素案)の広報や説明の在り方

など



※キャンプフィールドと自然館の2つのフィールドからなり、テント設営やたき火など、さまざまなイベントも実施されています。

賛成・反対が分かれた議案

採決に付された33議案のうち、
下記以外の議案は、全員賛成で可決されました。

議案 ○：賛成 ×：反対	政策会派・議員名		大阪維新の会	箕面政友会	自由民主党	公明党	日本共産党	市民派クラブ	議決結果													
	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名														
証明書の交付請求の受付及び引渡し等の業務委託契約	堀江夏優	尾根ひと	山根ひと	桃山夏優	神代繁	武智秀生	川上津	高橋竜馬	大中三郎	内藤四郎	藤田貴	船瀬泰	牧野芳	田中由	楠真	岡沢隆	神田真	村川宏	名手智	中野京	増田子	可決

議長（自由民主党：中井博幸）は採決には加わりません。

※議案に対する討論は、賛成・反対の両方の討論があった場合のみ掲載します。
今定例会では、該当する議案がなかったため、討論の掲載はありません。



～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。

全ての一般質問を
動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



子どもの虐待の撲滅に向けて

大阪維新の会
武智 秀生



- 問 コロナ禍による経済情勢の悪化や、生活様式の変化により、親の孤立化が加速し、ネグレクトなど子どもの虐待事例が増加している。第三者による見守り機会が減少する中、学校、民生委員、自治会などの地域団体との連携がより一層重要になると考えるが、市の対応と今後の取り組みを問う。
- 答 対象者を早期に発見し、支援することが肝要と考える。コロナ禍において学校には週1回以上の状況確認、民生委員や自治会にはより積極的な見守りを依頼し、保護者への指導や支援につなげている。4月からは、国が運用する全国統一情報共有システムを活用し、情報共有の即時性を高める。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動*

*オレンジリボン運動…「子ども虐待のない社会の実現」をめざす全国的な市民運動。オレンジリボンは、そのシンボルマーク。

公園の活性化と公正な人事制度について

大阪維新の会
桃山 悟



- 問 球技やドッグランなど公園にはさまざまなニーズがあるが、その実現には市も積極的に関わる必要がある。また、問題が発生した場合は、担当者の責任にせず組織で対応すべきであるが、見解を問う。
- 答 多様な公園利用によるコミュニティ活性化をはかるため、市は庁内や関係団体との調整などの対応をしている。また、公園のトラブルは、所管のみどりまちづくり部が責任を持って対処している。
- 問 従来の昇任試験制度を廃止し、職員同士での評価のみで昇格させる人事が公正と言えるのか。また、公共施設の長寿命化時代を迎え、職員採用には技術専門枠の復活が急務であるが、見解を問う。
- 答 上司、同僚、部下などさまざまな視点の評価で客観性が向上するなど、より公正な運用となっている。また、技術系職員の確保、育成に向け、採用方法の見直し、配置や異動の在り方を検討している。

本市の観光施策について

自由民主党
藤田 貴支



- 問 コロナ禍において、外国人観光客が激減したものの、本年紅葉シーズンも多くの観光客が箕面大滝を訪れていた。しかし、まだまだ観光により地域経済を活性化させる余地はあり、箕面駅周辺の観光に携わる企業や団体、店舗が一体となって観光客を迎え入れる施策が必要だと考えるが、見解は。
- 答 観光客に本市の魅力を感じていただくことは、市だけで実現できるものではなく、地域の関係団体や事業者と一体となって初めてなし得る。本市の更なる活性化に向け、観光に携わる企業や団体が力を最大限に発揮できるよう、それぞれの組織や協業の在り方などについて検討していく。



本市の行政のデジタル化について

公明党
楠 政則



- 問 コロナ禍で顕在化した行政手続きの遅延を改善すべく、デジタル技術の活用で手続きの迅速化及び効率化が必要であり、①今すぐにも活用できる行政手続きのオンライン化を行うべきではないか。
- ②デジタル化の恩恵から誰一人取り残されないようデジタル活用支援員推進事業に取り組んでは。
- 答 ①国はデジタル技術活用の前提として書面・押印・対面主義脱却を進めており、本市も同様にオンラインによる行政手続きの導入を推進していく。
- ②誰もが身近な場所で気軽に相談できる国の「デジタル活用支援員」制度の取り組み内容と実証事業の成果を踏まえながら研究を進めていく。



一般質問

地域共生社会の実現に向けた市の見解を問う

公明党
岡沢 聡



問 少子高齢化、人口減少、家族や雇用形態の多様化と地域社会の結び付きの希薄化が進行している中、個人や家族が抱える生きづらさやリスクが複雑化・多様化し、80代の親が50代の引きこもりの子を養う「8050問題」、介護と子育てを同時に担う「ダブルケア」など新たな課題が表面化してきている。市は国で定められた重層的支援体制整備事業にどのように取り組み、実現していくのかを問う。

答 同事業は、今後の包括的な支援体制づくり非常に有効かつ必要性の高い取り組みになるものと認識しており、現在策定中の第2期箕面市地域福祉計画に、地域共生社会の実現に向けた重点的な取り組みとして重層的支援整備体制の構築を明記する予定。現在実施している事業の検証や相談内容などの分析を進めながら、庁内の各分野の相談窓口を置く部署と連携し、実施に向けた検討を進める。

観光振興の取り組みについて

大阪維新の会
神代 繁近



問 市内には「ええ・みのお推進市民の会」をはじめ多くの市民団体が観光を切り口に活動している。それぞれの団体と一体となって観光振興に取り組む必要があると考えるが、市の見解は。

答 地域との取り組みは欠かせないと考える。今年度は、地域の団体や滝道沿道の店舗などが集まり、「たきのみち賑わいの会」を開催、滝道の一体感を醸成する取り組みを実施。今後も関係団体や事業者と一丸となり取り組んでいく。

問 「箕面市特命大使」制度を、箕面を「ちょうどいい観光地」としてPRするために、もっと有意義に活用してはどうか。

答 イベントなどへの積極的な活用をはかるとともに、特命大使のかたと定期的に連絡を取り、意見交換などを行い、箕面をPRしてもらうよう努める。

他 小学校における学習環境の充実について

公立幼稚園廃止の是非について

箕面政友会
大脇 典子



問 公立幼稚園と私立幼稚園では、3歳児保育が無いなどサービスの内容の違いで、入園児数も変わるのではないか。また、公私のサービスは、ある程度公平であるべきではないのか。

答 私立幼稚園が建学の精神などに基づく特色ある運営を行うことを前提に、公立幼稚園が就園ニーズを補完する仕組みであるため、保育内容や提供するサービスなどに差異が生じることはやむを得ない。

問 公立幼稚園で担うものは、簡単に私立幼稚園に引き継げば良いものではない。支援教育、家庭環境など、市との連携が必要になるが、公立幼稚園を廃止した場合、しっかりと連携できるのか。

答 私立幼稚園などに対し、受け入れ体制を構築するための人材確保や、市の関係機関とのより一層の連携などにより、全て子どもたちが安心して就学前教育を受けられるよう検討を進める。

気候変動などの問題解決は地域施策から

市民派クラブ
増田 京子



問 「気候変動・生物多様性対応」のため、農業公社、6次産業、農福連携、有機農産物などを充実させ、農業施策の方向性をしっかり示す必要がある。そのため「都市農業振興基本計画」策定が必要では。

答 本市は、農業公社を設立し、遊休農地の解消、担い手の育成、安定供給先（学校給食）の確保、地産地消の実践などを既に方針決定し取り組んでおり、現在のところ計画策定の必要はないと考える。

問 気候変動は生態系にも大きく影響を与えるが、市内でもその変化が見られる。温暖化緩和策だけでなく適応策も必要。新たな「快適環境づくり計画」を策定し、適応策を盛り込むべきでは。

答 国の気候変動適応計画に対しては、都道府県単位での対応が必要で、市単独の適応策への対応でなく、府が策定した大阪府地球温暖化対策実行計画をもとに、可能な対応を検討していく。

(仮称)箕面市新改革プラン(素案)について

大阪維新の会
山根 ひとみ



問 本市の財政の危機的状況から脱却するために、市長・職員・議会の英知、情熱を結集させ、スピード感を持って新改革プランの実行に取り組み、行財政改革の実現を望むが、市の見解を問う。

答 新改革プランは、財政的効果だけでなく、質の高いサービス提供を目的に、改革の早期実行により、市民もその効果が実感できるよう、市役所一丸となり策定及び実行に取り組む。

問 「民間でできることは民間で」の発想のもと、民間委託を進める一方、定年による自然減を踏まえた職員の定数適正化と効果額を算定し、早急に年次計画を策定すべきと考えるが、市の見解を問う。

答 アウトソーシングを実施する事業と従事職員の配置先、定年若しくは再任用満了までの年数などを、具体的な年次計画を今年度内に策定すべく、検討を加速させる。

桜井駅周辺地域の商業活性化について

自由民主党
船瀬 泰孝



問 ①商業者の高齢化が喫緊の課題であると考えますが、若い人による新店舗の出店を後押しするなど、商業の活性化を促進するため、どのような取り組みを行っているのか、市の対策を問う。②桜井駅前への来訪者が周辺を回遊するような取り組みを行うべきだと考えるが、市の見解は。

答 ①桜井駅周辺に限らず、箕面商工会議所などと連携して創業希望者を支援し、市内における創業を促進している。②桜井マルシェにて駅周辺店舗を記載したチラシ配布や周辺店舗の商品が当たる「くじ」を実施しており、コロナ禍の終息後にはイベントを積極的にPRし、更なる活性化を進める。



(仮称)箕面市新改革プラン(素案)策定の疑問点について

市民派クラブ
中西 智子



問 市が突然提案した素案は、数値的な裏付けや試算が明確ではない。①公共施設再配置による費用対効果の収支説明を求める。②ライフプラザは地域包括ケアシステムを先取りして整備された先駆的施設である。保健・医療・福祉機能の充実や連携を支える包括的機能を有し、今日的意義が深まっている。健康福祉部をグリーンホール跡地に移すとあるが、総合保健福祉センターはどうするのか。

答 ①今後、公共施設の再配置構想において既存施設の活用や跡地の利活用などを個々具体的に検討した上で示す予定。②社会福祉協議会と健康福祉部の連携が距離に左右されることはない。行政機能の集約により業務効率化、手続き場所の一元化など利便性向上が見込める。総合保健福祉センターは、新改革プランの方向性決定後、有効活用の在り方あるいは公共施設の再配置構想の中で検討する。



一般質問

〔仮称〕箕面市新改革プラン（素案） 今井用水の堰の改善

大阪維新の会
尾崎 夏樹



- 問**本市の行財政改革の取り組みに、平成20年度に策定の「緊急プラン（素案）・ゼロ試算」があった。今回の「〔仮称〕箕面市新改革プラン（素案）」の行財政改革の取り組みとしての共通点を問う。
- 答**子どもたちの未来に負担を先送りせず、持続可能で魅力あるまちであり続けるための改革という点で共通し、障害者や高齢者、生活困窮者への影響に配慮しつつ、丁寧かつスピード感を持って取り組む。
- 問**今井用水の取水堰の周囲の土壌やごみについて、令和2年9月議会の一般質問を受けて、池田市に改善を働きかけたとのことだが、池田市における改善に向けたその後の取り組み状況を問う。
- 答**池田市では、来年度の^{しゅすいせき}取水堰の改良工事に向けて必要な予算を確保する方針で、渇水時期の令和4年2月ごろの工事を予定し、現在のコンクリート^{せき}堰を更に延長し、取水量を確保すること。

区域外通学及び 進学について

大阪維新の会
堀江 優



- 問**学校との信頼関係やいじめが原因で区域外通学をしている児童の保護者からすれば、過去に問題のあった学校にその弟や妹を入学させたくないと思うのは当然と考えるが、区域外通学の認定を受ける児童の兄弟、姉妹の処遇について、見解を問う。
- 答**教育的配慮による就学校の指定変更などは、当該児童に対する措置であり、その弟や妹の進学に不安があれば、学校や市教育委員会などがその思いにできる限り添いながら、不安解消をめざすこととなり、必要であれば指定変更の手続きをとる。
- 問**区域外通学における「卒業」までという認定期間は、実情とかけ離れたものであり、認定期間の撤廃、緩和をすべきだと思うが、見解を問う。
- 答**小学6年生の冬ごろに個々の状況で慎重に判断するが、必要に応じ変更の検討時期を判断するなど、当該児童が安心して学校生活を送れるよう努める。

旧大阪外国語大学跡地 について

日本共産党
神田 隆生



- 問**跡地の活用や環境保全について、市有財産の貸し付け先や売却先任せではなく、市としての基本的な考え方について、少なくとも間谷住宅などの周辺住民のみなさんに説明するべきだ。活用方法が決まってから住民説明をするのでは周辺住民の不安や不満は解消しない。住民の声をしっかり聴いて跡地の活用を進めるべきである。跡地の活用と環境保全、住民参加について、市の見解を求める。
- 答**跡地の環境保全は、周辺の住環境との調和がはかれるよう誘致を行う方針で、募集要項にも記載する予定。また、跡地の活用にあたっては、議員や地域団体などからの意見や要望を念頭に検討を進める。なお、〔仮称〕箕面市新改革プラン（素案）では、市有財産の有効活用の観点から、これまでの方針に変更はなく、跡地の貸し付けや計画的売却は財政効果が見込まれることから掲載しているもの。

新放課後モデル事業に ついて

箕面政友会
川上 加津子



- 問**新放課後モデル事業も今年度で8年目となる。モデル校の豊川北小、中小では、多くの「活動プログラム」の中から、選択して参加できる子どもの居場所が用意されている。コロナ禍でも希望者全員が参加できるようにコマ数、日数などを調整する専任コーディネーターが配置されているからこそ、充実した活動が続けられている。この事業について、保護者、教職員及び教育委員会の評価を問う。
- 答**保護者から、家庭ではなかなかできない体験をさせることができると感謝の声を聞いており、教職員からも、子どもに良い影響があると評価を得ている。教育委員会としては、子どもが学校内で充実した豊かな放課後を過ごせるようになったことで、学校全体が落ち着き、また、地域との連携により、学校外での子どもの見守りがより温かみのあるものとなるなどの成果があったと考えている。

コロナ禍での学校運営 について

日本共産党
村川 真実



- 問**学校で感染者が発生した場合①学校名を公表して、感染拡大を防ぐのか、非公表にしてプライバシーを守るのか、自治体の対応が分かれている。府内では寝屋川市が公表しているが、市の方針は。②PCR検査の対象をクラス全員と関係者まで拡大するなど積極的な検査が必要と考えるが、見解は。
- 答**①府教育庁から示された「児童生徒等及び教職員に感染者が確認された場合の基本的な対応」をもとに、感染者が発生した場合は、学校名と感染者が児童生徒か教職員のいずれかについて報道発表している。また、感染者が教職員である場合には、ホームページ上で、学校名を伏せて公表している。②PCR検査の対象は池田保健所が判断しており、その指示に従うべきと考える。
- 他**スケートボードパークの整備やトイレ改修、適切な維持管理など公園の活用策について

公立保育所・公立幼稚園 の公的役割を問う

日本共産党
名手 宏樹



- 問**①〔仮称〕箕面市新改革プラン（素案）では、公立保育所の民営化の拡大などを進めるとしている。公立保育所は、病児・病後児保育の拠点や支援保育の受け皿として確保する方針であった。公立保育所の役割について、認識を問う。②公立幼稚園は、研修や研究の機能、特別な支援が必要な子どものケア、子育て支援機能など中核的な役割を担っている。公立幼稚園の役割について、認識を問う。
- 答**①平成17年に策定した市立保育所民営化方針で、病後児保育や支援保育などは公的役割として公立保育所が実施する方針になっており、今後、主に公が担っている役割について、現状分析などを進めた上で、民間による実施に向け、検討を進める。②府や近隣において、研修や研究などを行っている幼児教育センターの取り組み、運営内容などについて把握し、議論を進めていく。

多文化共生のまちづくり

箕面政友会
内海 辰郷



- 問**ベトナム国籍の市民を中心に技能実習生が急増している。住まいや言葉の問題など生活状況の実態を把握し、適切な支援はされているか。
- 答**箕面市国際交流協会と技能実習生の実態を把握するとともに、生活での困りごとを相談できる体制の整備に努めており、今後とも関係機関、団体と連携し、技能実習生が抱える問題解決に取り組む。
- 問**箕面市国際交流協会とメイプル文化財団では、めざす文化そのものに相違があり、事業内容も類似しているとは思えない。両財団の統合は、活動に関わる市民の声を十分聞いた上で、そのメリット、デメリットを検証され、慎重にも慎重を期すべき。
- 答**両財団の統合は、各団体の事業を統合、縮小するのではなく、新たに市民ニーズに合った事業の展開を全市横断的に促進するものであり、今後、両財団の関係者とも十分議論を進める。



議員まちある記

vol.19

今回の取材担当：田中 真由美、中嶋 三四郎

議会だより編集委員が、
市内の注目スポットなどを取材し、
箕面の魅力をお届けします。

迫力満点の水上の格闘技!! モーターボートレディスカップ



ボートレース住之江において本市主催で開催された女子レーサーの熱い戦い、「GⅢ2020モーターボートレディスカップ」を観戦してきました。ボートレースは、自らモーターやプロペラを整備し、水上で激しくスリリングなレースを展開することから、「男」の競技のイメージが強いですが、実は、女子レーサーの割合は約14%にのびります。そして、女子レースは、その華やかさや男子顔負けの迫力なども相まって、今や大人気のレースとなっています。観戦したレースでも、気迫のこもる水上の戦いに圧倒されました。市内のインフラ整備などに生かされ、本市の貴重な自主財源となっている競艇事業。

議会においても、売上向上策や今後の事業展望などが議論されており、今後も見守っていききたいと思います。



みのお市議会だより
令和3年(2021年)2月15日発行

編集・発行／箕面市議会広報委員会
〒562-0003 大阪府箕面市西小路4-6-1
TEL(072)724-6705 / FAX(072)724-1568

次回定例会のお知らせ

2/19 ~ 3/26 開催予定

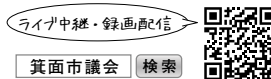
2 February							10時開会	2021
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat		
14	15	16	17	18	19	20		
					本会議①			
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27		
28								

3 March						
	1	2	3	4	5	6
				本会議②	本会議③	
7	8	9	10 常任委員会	11	12	13
14	15 常任委員会	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25 本会議④	26 本会議⑤	27 春分の日

①R3施政及び予算編成方針ほか ②代表質問 ③代表質問、議案説明ほか
④討論・採決、一般質問 ⑤一般質問(進行状況により変更となる場合があります)

動画でCheck!

議会の模様を動画で視聴できます。
動画の内容は公式記録ではありません。



箕面市議会 検索

タッキー-816でCheck!

一般質問や代表質問などの録音を、
ラジオ(FM81.6MHz)・スマホ・パソコン
で聴取できます。

タッキー-816 検索

点字と声の 議会だより

点字と声(テープ版、CD版、
デージー版)による議会だより
も発行しています。視覚障
害のあるかたで希望される
かたは、議会事務局へご連絡
ください。

箕面市 統一キャンペーン



次号は、令和3年5月15日発行予定です